

追跡

あの時の
あの質問

どうなった
あの答弁

今回は、26年9月の質問が、その後、どうなったかを追跡した

広報研修

「伝える」から 「伝わる」へ

広報コンサルタントの芳野政明氏の講師による第28回愛知県町村議会広報研修会が平成27年8月21日にアイリス愛知で開催され、広報編集委員会の全員で参加した。

特に今回は、議会広報編集委員となり初の研修会ということもあり緊張の中、研修を受けた。

議会情報発信は、スピーディーにそして常に読者目線で、また住民の方を登場させ写真やキャッチコピー、イラスト、リード文などを駆使するなどして、どうすれば手にして読んでもらえる議会広報になるのかとてもわかりやすく講義をしていただいた。

住民のみなさんに「伝える」から「伝わる」議会広報誌作りの大切さなど学ぶことができた。

後半は、9市町が発行した各広報誌のクリニックが行われ、具体的に広報誌の内容の良し悪しを勉強させてもらい、議会広報誌を魅力あるものとして、住民と議会をつなぐ大切なツールの1つになるよう「伝わる」広報誌作りをしていきたい。



交差点信号機の整備を

伊勢山交差点は時間帯によってひどい渋滞となる。今後、ますます混雑が予想される。矢印信号を要望する

答弁

県公安委員会に要望している

西枇杷島警察署から管内、最優先事項として要望しているとの回答を得ている

どうなった

矢印信号を設置

伊勢山交差点に、右折矢印信号が設置され、27年2月17日より、供用開始された



新設の矢印信号機

これからの認知症対策は

厚生労働省が進めている「認知症カフェ」を設置してはどうか

答弁

「認知症カフェ」を設置したい

現在行っている「介護者の集い」を発展させ、家族や認知症サポーターが集う場を開設したい

どうなった

「福祉カフェめだか」が開設

西春日井福祉会 特別養護老人ホームあいせの里にて、福祉専門スタッフによる「福祉カフェめだか」が開設された



「福祉カフェ」の案内